

- K社は、約110名の正社員を雇用し、精密部品の製造を行っている企業であり、平均年齢は40歳程度である。
- 同社では、ある程度の経験のある者を中途採用で採用する割合が高い企業である。
- そのような同社においても、コスト、時間をかけて面接やSPIテストなどの見極めプロセスを経て採用したにもかかわらず、すぐに辞めてしまうような者が出るのが少なくなく、このような事態をできるだけ防ぎたい、という思いから、採用時に留意していることがある。
- その一つとして、ベンチャー企業での勤務経験のある者の雇用には、より慎重になる、ということがあり、同社の事業そのものはどちらかというと地味であり、根気の要る仕事であるが、ベンチャー企業勤務経験者は、必ずしも全員ではないが、“派手なこと”を好む傾向があり、“いきなりイロイロな仕事を任されること”が当然だと思っている部分があり、地味な仕事を好まない傾向があるからである。
- 同社でも、かつてベンチャー企業勤務経験がある者を採用したことがあるが、周りに馴染むことができなかったという痛い経験をしている。その者は試用期間中は普通に見えたのだが、正社員になった後には重要な仕事を任せてもらえると思っていたらしく、「コピー機の使い方を教えてもらえなかった」という、驚くような些細な理由で辞めてしまった。周囲を見下すような言動も見られたため、周囲とも折り合いを上手くつけることができず、また簡単な作業についても周囲に聞くことに抵抗を感じていたようであり、“一番下”の立場で一番簡単な作業をやらされることに耐えられなかったようである。